



# TWEET

## 私が母親になって

「おかあさん、ぼくおかあさんのことだいすき。きょうはごめんね。」夜、寝かしつけの際なかなか寝ずにガサガサしている2才の息子を横目にため息をついたところで急に息子にこう言われたのです。「???」私、今日は何か怒ったっけ……。

そういえば朝食の時、手についたご飯粒を机に擦り付ける癖を怒ったな……それから昼食の Pasta に入っていたキライなピーマンを投げつけたのをキツク怒ったな。しかも叱るというより感情的になってしまっていた。

息子に「おかあさんだいすき」と言われた瞬間は嬉しかったけど、そのあとに「ごめんね」が来るなんて複雑だったし、息子に怖い思いをさせてしまった自分を恥じました。

子どもに何かを伝える時は諭すように話さなければいけないのに……分かってはいるけど日々のイライラをつい子どもにぶつけてしまう。そんな時は目を閉じて息子が誕生した日のことを思い出してみる。初めて胸に抱いた時の肌のぬくもり、高揚感。無事に健康に生まれてきてくれた、そのことに心から感謝できた。それなのに……。

思えば息子が生まれて子育てに取り組むようになってから、喜びも悲しみも怒りも含め本当に今まで味わったことのない感情になったことが沢山ある。産後は特に主人との価値観の違いなどで知らないうちにストレスを溜めてしまい正直な話、離婚が頭をよぎったこともある。主人が仕事から帰宅しようものなら「寝てるんだからもっと静かに帰ってきてくれればいいのに」や「少しは手伝ってよ」「楽しく仕事できていいね」などキツイ口調で怒鳴ってしまうこともありました。主人も疲れている事はわかっているのに……。

やがて成長するにつれ色々なことをする息子によく怒るようになってしまい……息子は、毎日寝る前に必ず「おかあさん、ごめんなさい」と謝るようになってしまいました。

そんな息子の言葉を聞くと「私はこの子にどんな思いをさせているんだろう。この子は毎日楽しいんだろうか」と自分が情けなくなり母親失格だと泣けてきます。

私はよく「優しそうなお母さんだね」とか「子育てうまくやってるね」など言われますが実際は理想とは程遠く、そう言われる度に「そんなことない！本当は私も息子も苦しいのに……。」と心の中で叫んでいます。私は2才の子どもに謝らせてしまう母親。甘えたい盛りの息子の心も受け止めてあげられない母親。今0才の娘がいますが、娘にも影響が出ないか心配です。

なにひとつ前向きな言葉で締めくくれないのがすごく悲しいですが、ぐるんばでスタッフの方や沢山の母さん達と何気ないお話をしている時や、誰とも話さずにボーっとしている時、楽しそうに遊んでいる息子を見ている時……本当にホッとするひとときを与您いただいています。これからも癒しの時間を求めて息子・娘と遊びに行かせていただきますね。

2才の男の子、0才の女の子の母より

このコーナーはぐるんばママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！